



論点整理

第七章 その他諮問で提起された事項の在り方 ②

高等学校入学者選抜

学力検査の改善

- ◆ 中学校以下の授業改善に資する観点も含め、思考力・判断力・表現力等を問う出題の充実に係る課題の整理を国として支援すべき
- ◆ 都道府県教委等における中・高担当部署の連携を図り、出題方針の公表、作問解説、県全体・各学校の分析結果の共有等を促進することによって、中学校の授業改善や進路選択、高校入学後の学習の充実につなげていくことを検討すべき
- ◆ 採点等でのデジタル技術の活用や、負担軽減に係る取組を促進すべき



多様な選抜方法の拡充

- ◆ 高校の特色化・魅力化を促進する観点から、校長のリーダーシップの下で定めたスクール・ミッション、スクール・ポリシーを踏まえた多様な選抜方法を導入する場合は、どのような方法や留意事項があるか整理すべき
- ◆ その際、多様な背景を有する生徒の個性・特性を十分に踏まえた選抜を充実させるための留意事項を整理すべき（第3章（4）で記載の不登校生徒に対する特別の教育課程に基づく評定等の扱いの整理や、障害のある生徒の受検上の合理的配慮の提供の充実に向けた基本的な考え方や配慮の例の提示など）
- ◆ 上記の整理も踏まえつつ、生徒や地域の実情に鑑み、学力検査を行わないことができる選抜や、調査書を用いないことができる選抜の取扱い等について整理すべき

自分の未熟なところは素直に認める

けん み ひと おも ふけん み うち みずか かえり
賢を見ては齊しからんことを思い、不賢を見ては内に自ら省みるなり。

（訳）優れた人物を見ては、このようになりたいと思い、
つまらぬ人物を見ては、自分もこのようではないかと反省する。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）